



とき・まち・自然・人
流れの
あるまち
佐々町



町制施行70周年記念
長崎県佐々町町勢要覧
2011



流れの
あるまち
佐々町

1949年4月1日 町制施行

佐々町制施行70周年

歩んできた道のりを振り返る

佐々町70年のあゆみ 4

佐々町制施行70周年

それぞれの視点から見るそれぞれの佐々

SAZA 7 に聞く 私の好きな佐々町 6

●町の施策紹介

暮らしいちばん！ 住むならさざ 8

ずっと住みたい、住みたくなる【暮らしづくり】 10

自然とまちが融合する【顔づくり】 12

まちの発展を支え元気に働ける【仕事づくり】 14

手と手をつなぎ未来をつくる【協働のまちづくり】 16

佐々町の大地はまさに自然のぬくもり 自然の恵み 季節の流れ 18

緑と文化の里 暮らし歳時記 20

さざの顔が輝いている

●佐々町イラストマップ 22

●町長メッセージ 23

●佐々町の概要

長崎県の北部に位置し、周辺を佐世保市に囲まれ、東境には葦岳から牟田原に連なる山脈があり、西境の盲ヶ原から北境の鷲尾岳まで江里山脈が連なっています。

この間に佐々谷と呼ばれる縦谷が形成され、国見山(佐世保市世知原町)に源流を発する延長21.9キロメートルにおよぶ佐々川が町の中央を北東から南へ貫流し、川に沿って平野が開け町が展開しています。また、東に木場谷、西に志方谷があり、その水は佐々川に合流しています。平均気温は約17度、平均湿度は約65パーセントで温潤な恵まれた環境になっており、これらの自然条件を生かして、平野部や中山間地では水稻栽培、いちご栽培が行われています。

長崎県
佐々町

佐世保市

長崎市

●位置・地勢

町域／東西約6.5km 南北約8.0km

面積／32.30km²

位置／北緯33°11'～33°16'

東経129°37'～129°42'

2011年
平成23年

H 23 佐々川大橋開通

H 22 佐世保広域圏北部塵芥処理一部事務組合解散
佐々クリンセンター単独運転開始

H 21 県立清峰高等学校野球部第81回選抜高校野球大会で優勝

H 20 佐々町主催の敬老祝賀式を終了

H 19 佐々バスセンター供用開始

H 17 佐々・口石学童保育施設完成、佐々皿山直売所完成

佐々町・小佐々町法定合併協議会解散
中央地区排水対策事業（総事業費45億円）に着手

H 16 佐々千年さくらの里植樹式

H 15 県立北松南高等学校の校名を清峰高等学校に改称
県立佐世保高等技術専門校開校

H 14 大雨被害低地浸水降雨量325.5mm
佐々町・小佐々町法定合併協議会設置

2001年
平成13年

H 12 佐々川桜つつみ完成1.8km

H 11 町立図書館オープン、町立診療所新築移転、学童保育開始（佐々小・口石小）
佐々栄町通り商工協同組合アーチ・モニュメント落成

H 10 南部運動公園サンビレッジさきこオープン

H 9 公共下水道事業供用開始
総合福祉センター（福祉センター、健康相談センター）完成

H 6 議会中継テレビ放映開始、未曾有の大湯水により平地部減圧給水
H 5 第1回皿山まつり

1991年
平成3年

H 3 公共下水道事業認可

H 元 “さよなら李香蘭”干拓地口ケ

S 63 第3セクター松浦鉄道開業

S 62 台風12号により被害（4億円余）

S 61 第1回わかあゆ少年駅伝競走大会、学童農園「童の里」落成

S 59 古川岳遊歩道完成 3、306m、少年少女合唱団誕生、文化会館落成

S 57 大雨被害、降雨量223.5mm、1時間最大80mm

S 56 「町歌」、「町民憲章」制定、社会福祉法人さざなみ保育園開園

1981年
昭和56年

町内会発足（部落の呼称を変更）

少年駅伝競走大会 第二回わかあゆ



©1986年（昭和61年）1月

佐々川大橋開通

©2011年平成23年2月



清峰高校野球部 第81回選抜高校野球大会優勝

©2009年（平成21年）4月

2009年、春の選抜高校野球大会において、清峰高校が、初優勝を遂げた。
長崎県勢の優勝は春夏通じて初めて。

長崎新聞社提供



未曾有の大洪水

©1967年（昭和42年）7月



SAZA
1

桜がある町に暮らして思うこと

清原 美津子さん

真竹谷 / 桜づつみ / 皿山公園 / 千本公園

日本人は桜が大好きです。桜の開花を待ち遠しく思い、咲き誇った姿に勇気をもらい、散りゆく花びらに人生のはかなさを年とともに感じてゆく私たちです。年を重ねて車椅子になっても「まだまだこれから」と元気をもらいに桜の木に集まっている姿に、自分の姿を重ねることもあります。このまちに咲く、いろいろな種類の桜が心を明るくしてくれます。この美しい桜が咲く景色を覚えていただけるように、そしていつまでも佐々町に桜の木があることを願っています。



佐々町制施行70周年

それぞれの視点から見るそれぞれの佐々

SAZA 7 SEVEN に聞く 私の好きな 佐々町

ZOOM UP!
SAZA

自然豊かな佐々町。そこに暮らす人だからこそ知る、大切な場所があります。今回は70周年企画にあたり、佐々町の7人「SAZA7(セブン)」の方々にそれぞれの視点から、自分の好きな佐々を紹介していただきました。

SAZA
2四季折々の花が
咲き誇る癒しスポット

前川 絹子さん

皿山公園

皿山公園は、早春の白木蓮から始まり、吉野桜、しだれ桜、八重桜が咲き、桜の花の競演です。5月末になると菖蒲が咲き出し、約1万株の花が見頃を迎えるころ、公園は多くの人出で賑わい、蛍が舞う幻想的な初夏の夜を私たちにプレゼントしてくれます。晩秋はつわぶきの花や山茶花などがしっかりと季節を告げてくれます。皿山公園の四季折々の花が私たちの心を癒してくれます。

SAZA
3黄金色に染まる
段々畑と佐々川の景観に感激

馬場 千秋さん

古川岳の遊歩道

全長3.3kmの整備された遊歩道を登ると、佐々町の全貌を望む古川岳展望台にたどりつきます。四季折々、違った佐々町の表情を見せてくれる古川岳。中でも秋の黄金色に染まった段々畑や大岳山、眼下に流れる佐々川とのコントラストは雄大で「佐々も捨てたもんじゃない!!」と思わせられます。私にとってのパワースポットです。この素晴らしい自然を守り、伝えていけたら…。森林浴を楽しみながら、ゆっくり散策されてはいかがですか。



SAZA
4

ビックリ、感動、感謝、オンリーワンのひとときを過ごせる

上野 利郎さん

学童農園

大岳へ向かって、佐々町役場から車で5分の距離にある学童農園。農園へ行く途中、健康ウォーキングを楽しめます。青空広場、汗の道入口から215段の階段を上り、農舎、農園、運動場、アスレチック場、キャンプ場を過ぎると、つどいの広場に出ます。ここにある童の館には石で囲まれた入浴場もあります。展望台からの九十九島の眺めの素晴らしさに感動します。愛の鐘もあり、写真ロケには最高の場所です。仲間、家族で、土、音、光、風の自然が奏でる憩いのひとときが満喫できます。

SAZA
5

佐々川の春を告げる風物詩と初夏の風物詩

中村 一三さん

シロウオ漁 / 鮎釣り

佐々川下流では、2月上旬から3月下旬にかけて産卵のために遡上してきたシロウオをすくい獲る四つ手網漁が行われ、佐々川の春の風物詩となっています。シロウオの名物料理は、生きたシロウオを皿の中に泳がせ跳ねているところを、すくってポン酢で食べる「おどり食い」が有名です。のどごしでピクピク跳ねるシロウオの感触がくすぐったい。また、太公望たちが待ちに待った6月のアユ釣り解禁は初夏の風物詩です。8月から10月くらいまで佐々川中流でアユ釣りを楽しめます。旬子どもたちが大人になっても漁を楽しめるようにいつまでもきれいな川であって欲しいです。

SAZA
6

受け継がれてきた伝統の秋祭り「おくんち」

福田 恭二さん

小浦くんちおくだり / 平戸神楽

毎年10月8日と9日に、MR小浦駅から歩いて1分の小浦御旅所で「小浦くんち」が開催されます。三柱神社を出発した神輿に乗ったご神体が御旅所に到着すると、おくんちの伝統行事「こども相撲」「子泣き相撲」が始まります。夜になると「奉納演芸」や神代の時代から受け継がれてきた儼かな舞いを見せてくれる「平戸神楽」などもあります。毎年たくさんの見物客が集まりとても賑やかです。1804年から続いている伝統ある佐々町の祭りに、ぜひお出かけください。

SAZA
7

楽しみがいっぱいジョギングフェスティバル

久保 宏記さん

ジョギングフェスティバル

古川岳連峰と佐々川と田園風景と...走る辛さを忘れさせてくれるほど感動する景色が広がっています。松浦鉄道に沿って走るコースでは、電車の音を聞きながら併走できるのも楽しみの一つです。そして、沿道のたくさんの方の応援者と佐々の風物詩である温かいシロウオの吸い物が心とお腹を満たしてくれます。幅広い年齢の方が気軽に参加できるフェスティバルには、毎年参加する人もいます。早春の佐々町と一緒に走ってみませんか。





町の施策紹介

暮らしいちばん! 住むならさざ

日々の暮らしに溶け込んでいる佐々町の豊かな自然。佐々川の清らかな流れ、川の護岸に沿って咲く花々の姿や風に揺れる木々は、私たちの心を穏やかにする。便利で安全な環境もこのまちならではの住みやすさ。自然とまちが融合する暮らしがここにある。



佐々町の町章

佐々町の頭文字「サ」を図案化し、町民の親睦融和と平和団結を表すとともに、町の輝かしい産業・文化の向上、発展を単純明快に象徴化したものです。

(町制施行35周年記念にちなんで一般公募の入選作品)



町の花「さざんか」



佐々町町歌

作詞 照代
補作 山口
作曲 深町 一郎

一 仰ぐみどりの 鷺尾岳

島影映る 西海に
強雄々しく 生きよつわれら
あ 美わしの 佐々町は
夢あり 愛あり 誇りあり

二 おどる銀りん 佐々川の

流に浮かぶ 城の辻
希冀燃えて 伸びよつわれら
あ 明日ひらく 佐々町は
夢あり 愛あり 力あり

三 文化はぐくむ 皿山の

さざんかかおる 心なごころに
力あせて はばたけわれら
あ 永遠に 佐々町は
夢あり 愛あり 栄あり

佐々音頭

作詞 矢野 洋三
作曲 川上 英一

一 アーアー 山は錦に稲穂は黄金ヨト

音頭とる娘はネ紅だすき
並心ぼんぼり灯がともりや
月も浮かれて踊りだすチョイト
ささよかとこよい佐々ソレ
ささよかとこよい佐々

二 アーアー 遠見岳から朝霧晴れてヨト

どんと男のネ朝がくる
腕はくるがね心は鋼鉄
掘って積みだ甘黒ダイヤチョイト
ささよかとこよい佐々ソレ
ささよかとこよい佐々

三 アーアー 牟田ヶ原からすつきが招きヨト

唄もはずむよネハイキング
九十九島も平戸の島も
一目千両の良いながめチョイト
ささよかとこよい佐々ソレ
ささよかとこよい佐々

四 アーアー 昔しや皿山皿焼く煙りヨト

加藤民吉ネよか男
瀬戸の茶碗も有田の皿も
種がこぼれて咲いた花チョイト
ささよかとこよい佐々ソレ
ささよかとこよい佐々

五 アーアー 佐々の流れに桜の花がヨト

咲いて嬉しやネ春の宵
様と逢瀬を見返り橋で
別れともないおぼろ月チョイト
ささよかとこよい佐々ソレ
ささよかとこよい佐々

佐々町の町歌

佐々町町歌

作詞 山口 照代
補作 江島 子秋
作曲 深町 一郎

♩ 100-104

あ おくみー どのの わしおだー け
しまか げ は ゆる さいー かい に
つよく おおしく いきよう われら あ あ
うる わしの さ ぎ ー ちよう ー は
ゆ め あり あ い あり ほ こり あり



暮らしいちばん!住むならさざ

ずっと住みたい、 住みたくなる

【暮らしづくり】

子どもからお年寄りまで、安心していきいきと輝いて生活できる健やかに暮らせるまち。



健康でいきいきと暮らせるまちに

保健・医療・高齢者

【保健】

病気の予防・早期発見に重点を置きながら「健康寿命」の延伸に向けた情報提供や個別指導などによる環境づくりを推進しています。

【地域医療】

町民が安心できる地域医療体制づくりに向けて、町立診療所「もの忘れ外来」の運営や休日救急医療体制の充実に努め、医療保険制度の充実と安定化に向けた取り組みを行っています。

【高齢者福祉】

高齢者の暮らしや生活を支援するサービス事業に加え、介護予防や生きがいづくりなどのソフト事業、高齢者福祉施設の整備検討など、ハードソフト両面の展開を図っています。

【生涯学習・スポーツ】

既存の生涯学習施設を維持・活用して生涯学習プログラムを充実させるとともに、各種スポーツ大会やイベントの開催を行っています。



健やかに子どもが育つ 環境をつくる

子育て・教育

【子育て環境】

町民が安心して子育てができるよう安心して出産できる環境づくりや、子育て相談など子育て支援サービスの充実に取り組んでいます。

【児童福祉】

中長期視点に立ち、子育てニーズの多様化に対応し、保育施設の計画的な維持管理、保育内容の充実に努めています。

【母子・父子家庭福祉】

母子・父子家庭が自立して安心して日常生活を送れるよう、子育て支援や生活相談の充実に努めています。

【就学前・学校教育】

多様なニーズに応じた就学前教育の充実と、「確かな学力」と「豊かな心」の育成を目指し、地域連携の取り組みを行っています。

【青少年の育成】

青少年の健全育成のための各種イベント開催やリーダー育成など、育成環境づくりに取り組んでいます。





心と身体の健康と暮らしづくりの拠点として

健康・子育て・安心

総合福祉センター



健康相談センターでは予防接種、健康診査・相談・教室、乳幼児の育児相談など、福祉センターでは総合相談事業、福祉サービス事業などを行っています。2階の入浴場は町民の憩いの場として利用されています。



サンビレッジ・さざ



人工芝の全天候型屋内運動場では、テニス・ゲートボールが楽しめます。屋外には野球・サッカーなどができるナイター完備の多目的グラウンド、テニスコート、ゲートボール場があります。



安全で安心な暮らしづくり

防災・災害対策・防犯・総合福祉

【防災・災害対策】

水害対策の強化や自主防災組織の育成などに取り組むほか、地すべりに関する情報収集や経過観察など、災害を未然に防ぐ体制づくりに努めています。

【交通安全・防犯】

犯罪や交通事故を未然に防ぐ環境づくりに取り組み、防犯に関する意識啓発活動を行っています。

【地域福祉】

社会福祉協議会の機能充実、公共施設のバリアフリー化などの整備に努めています。

【障がい者福祉】

障がい者が安心して暮らせるよう、社会生活の円滑化や福祉医療の充実に取り組んでいます。

【低所得者福祉】

生活保護者の生活安定化、就労支援など自立に向けた対策に取り組んでいます。

【人権教育と男女共同参画】

人権に関する各種教育活動に取り組んでいます。また、男女共同参画社会の実現に向けて体制作りを行い、男女が積極的に地域や職場などあらゆる場面で参画できる機会づくりに努めています。

暮らしいちばん!住むなら さざ

自然とまちが 融合する 【顔づくり】

水と緑に恵まれた豊かな自然に包まれるまちで
先人たちが築いた歴史と今が解け合う。



美しい生活環境を守る

自然・歴史・文化・景観

【自然環境・歴史】

佐々町の財産である水と緑の豊かな自然環境と歴史を守り、自然体験の場を核とした地域資源のネットワーク化と活用促進に取り組んでいます。

【環境対策】

廃棄物を適正に処理する方策を中長期的視点で検討しています。また、休耕田でコスモスなどを栽培し美しい景観づくりを目指した取り組みを行っています。



佐々クリーンセンター



水資源を活力とするまちづくり

水の安全・保全・活用

【水の供給と水質環境】

良質で安定的な給水のため、水資源の確保と取水ポンプ施設の改良に努めています。また水質保全のための基盤づくりを計画的に進めています。

【まちのシンボル佐々川】

安全に水と親しむことのできる親水空間の整備を検討し、佐々川周辺の環境整備についての取り組みを進めています。佐々川を活かした体験プログラムなどの企画・実践にも取り組んでいます。

【水から活力を生み出す】

雨水や中水などの利活用を検討し、水を活用した活性化方策に取り組んでいます。



浄水場



自然と都市空間の 顔づくりの拠点として

緑・文化・水・都市空間

佐々町学童農園(農業体験施設)

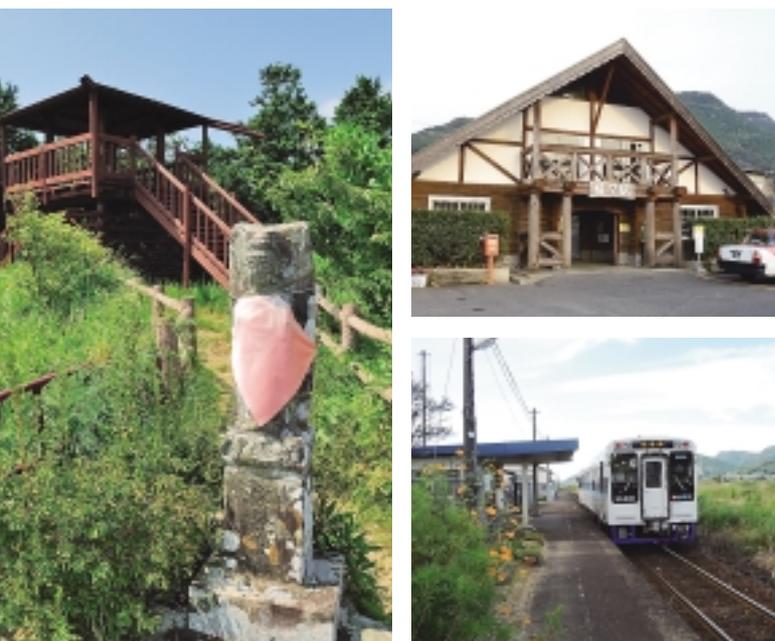


「土に親しみ・土に学ぶ」ことができる施設です。自然のなかで、農作物の種まきから収穫までを楽しく体験でき、キャンプ活動も行っています。農園には、宿泊研修施設、実習室、アスレチック施設、運動広場、展望所なども併設しています。

佐々町陶芸体験館



緑豊かな川辺に面した皿山公園の中で、専門家の先生の指導を受けながら、焼きものづくりが体験できる施設です。陶器を焼く窯は、直接炎で焼く登り窯のため、焼き上がりの変化に面白さがあります。



交流する都市空間づくり

まちなか・道路・交通・住居

【まちなかの活性化】

佐々駅を中心とした「まちなか」の整備を進めるとともに、まちなか居住の取り組み強化に努めています。

【インターチェンジ周辺の整備】

西九州自動車道佐々インターチェンジ周辺の計画的なまちづくりのための土地利用計画を策定し、幹線道路(国道204号)の計画的な整備、生活道路の計画的な整備に取り組んでいます。

【公共交通機関】

鉄道駅やバスセンターの計画的な整備に努めています。また、交通機関から離れた住民の外出支援策に取り組んでいます。

【住宅政策】

老朽化した設備の更新や維持管理、公営住宅の建替えを進めています。分譲宅地の開発・販売にも取り組んでいます。



佐々駅前バスセンター

暮らしいちばん!住むなら さざ

まちの発展を支え 元気に働ける 【仕事づくり】

2つの工場団地があり西九州自動車道開通により発展するまち。
佐々で生まれた産業を全国へ発信し、新しい活気を生み出す。

誰もが元気に働ける場づくり

企業誘致・雇用

【企業誘致】

町内には2つの佐々工場団地(小浦・神田)があり、町外からの誘致企業なども多く立地しています。受入適地の新規確保や優遇措置の強化を検討し、企業誘致の取り組みを進めています。

【雇用対策】

町民の雇用確保をめざし、雇用の創出に努めています。



佐々工場団地(小浦)

佐々川に見守られ豊かな 地力をいかす

生産・経営・販売

【生産基盤】

農業はまちの基幹産業として重要な産業のひとつ。稲作、野菜、果実や畜産物を生産しています。農業生産施設の計画的な維持管理を行い、農業用水の水質保全に取り組んでいます。

【経営基盤】

農業産出額は増加傾向にありますが、農家数は減少しており特に販売農家が少なくなっています。関係機関と一体となり、認定農業者や新規就農者の育成と確保に努めています。

【販路拡大】

農業と商業の異業種連携による特産品開発を推進し付加価値を高めるとともに、インターネットなどを活用した情報発信を行い、販路の拡大に取り組んでいます。





元気がでてる
仕事づくりの拠点として

雇用・地場産業

公民館・
勤労青少年ホーム・商工会



教養講座をはじめ、趣味講座など多くの教室が開かれており、地域住民の学習の場として広く活用されています。夜間、2階は青年が優先的に活動できる勤労青少年ホームになり、学習や交流の場として利用されています。



佐々皿山直売所



平屋づくりの木の香り漂うモダンな建物。佐々町産の新鮮で安心して食べられる農産物をはじめ、鮮魚、鉢物、手工芸品や竹炭など豊富な商品が揃っています。町内外からたくさんの方が訪れ販わっています。



賑わいと勢いがある産業を育てる

【商店街】

商店街の活性化を目指し、まちおこし活動やイベント開催などを通して、まちの賑わいづくりに努めています。

【地場産業】

すべての産業の活性化をめざして、融資制度などによる支援を行っています。

商店街・産業



暮らしいちばん!住むならさざ

手と手をつなぎ 未来をつくる

【協働のまちづくり】

地域コミュニティの絆を活かし、住民が主役のまちづくりを進め
住民と行政の語らいから生まれる未来をつくる。



地域コミュニティ・協働・拠点

一人ひとりがまちづくりの主役

【活動支援】

各町内会では活発な活動が行われています。さらなる活動の活発化を期待し、町内会などの地域コミュニティ活動の拠点となる施設や広場などの設備充実を進めています。

【住民参加】

住民同士が互いに手を取り合い町内会の枠を越えた多様な協働型まちづくりを展開するために、情報の提供や公開を積極的に行い、住民参加の場や機会の拡大に努めています。

【交流】

皿山まつりなどの交流イベントが盛んな佐々町。さらなる充実を図り、魅力的な交流拠点を創造・拡大する取り組みの強化に努めています。



発信・活用・行政

住民と歩む親しみある役場づくり

【情報発信】

平成22年度にリニューアルしたホームページを活用し、積極的な行政情報公開に努めています。また、よりわかりやすく親しみやすい充実した内容を掲載する広報紙の発行に取り組んでいます。

【行政運営】

効率的で質の高い行政サービスを提供するために、行政評価制度を導入し、事務事業の改善を図ります。また、目標達成に向けて、事務事業及び事業執行の適切な管理・監視体制を構築します。

【財政運営】

行政経費の適正化などを図るとともに、自主財源の確保に努めています。





住民参加型まちづくりのため 交流支援の拠点として

交流・役場

文化会館



668人を収容する大ホールでは、演劇やコンサートなどの公演などに利用できます。中ホール・研修室でも講習会・会議などの活動が行われ、多くの方が文化交流の拠点として利用しています。

町議会

町民の声を反映させたまちづくりを

【議会】

議長・副議長をはじめ、町民の代表である10人の議員で構成されています。総務厚生委員会・産業建設文教委員会の2つの常任委員会を設置され、町の施策や条例・予算案を審議し議決しています。議会の開催は年4回の定例会と必要に応じて開催する臨時会があります。



大綱引き大会



町の名物イベントとして定着している「大綱引き大会」。平成8年から始まった大会は、地元商店街のアイデアから生まれました。長さ120mの大きな綱を使い、町内の各チームで競い合います。



Blessing of nature Flow of season

佐々町の大地はまさに自然のめぐもり

自然の恵み



シロウオ

大地が育む自然

佐々川沿いの桜づつみでは早咲きの河津桜が、皿山公園や千本公園、真竹谷ではさまざまな種類の桜が春の到来を告げてくれます。山にはヤマツツジが咲き、6月になると菖蒲の花が皿山公園を紫に染め上げます。色とりどりの花が年間を通してまちを彩ります。

桜づつみの河津桜
花菖蒲
しゃくやく



1

大地が育む交流

田んぼの土の感触に驚いたり、川の生き物と触れ合い涼を得たり、樹木で生命を営む昆虫に笑い声をあげたり。暮らしのすぐそばにある自然と会話することで、満ちあふれる大地の生命力を感じることができます。

小学生田植え体験
セミをとる子どもたち
佐々川遊び



4



2



3



5



6



佐々町の豊かな自然は、命ある動植物たちの楽園。佐々川の護岸に沿って、桜や菜の花が咲き、ウォーキングをする人たちを楽しませてくれます。皿山公園では、1万本の花菖蒲が咲き誇るなど、季節に応じてたくさんの生命が満ちあふれています。



ソメイヨシノ

八重紅しだれ桜

季節の流れ

大地が育む産業

収穫の喜びは大地からのプレゼント。佐々川の恵み、大地と自然の生き物に守られ育った植物たちが、季節を感じさせてくれながら暮らしと生活を潤してくれます。自然の輝きに感謝して、大地に育まれた恵みをいただきます。

牟田原の茶畑
シロウオ漁
合鴨農法によるお米

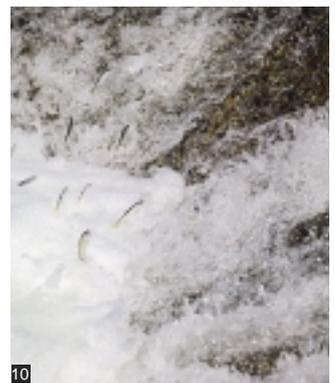


7

川が育む生物たち

水の流れがある佐々町ならではの豊富な自然環境。佐々川の清流はそこに暮らす生物たちのゆりかごです。水資源を大切にしながら、環境を守ることは私たちの努めです。

アユ
モクスガニ
うなぎ



10



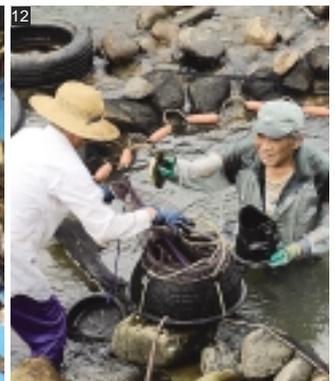
8



9



11



12

緑と文化の里 暮らし歳時記

さざの顔が輝いている

佐々町も暮らす人々の暮らしの中には、自然の恵みと受け継がれてきた伝統が自然に溶け込んでいます。季節ごとに行われるのまちの行事には、古い歴史もあれば新しく育まれた歴史もあります。それらが融合し、新たなまちの顔を生み出しています。

新春の到来を告げるわかあゆ駅伝大会。小中学生の部と成人の部に分かれ、佐々の大地を駆けめぐります。シロウオ漁の始まりは、春が訪れたという自然からの知らせ。春のあゆみがさらに進むと、桜づつみに桜の花が咲き始め園児たちの声が川岸に響きます。まちに花があふれる季節が始まります。

春

- 1 シロウオ
- 2 桜づつみ
- 3 わかあゆ駅伝



夏はまつりの季節。まちでは、子どもから大人まで楽しめるさまざまなまつりが開催されます。光がそそぐ明るい館内で行われるとしょかん夏祭り、イベント盛りだくさんの七夕まつり、夏祭りの大花火大会。どのまつりも、子どもたちの元気な声と笑顔でいっぱいです。

夏

- 4 としょかん夏まつり
- 5 七夕まつり
- 6 夏祭り





花の名所、皿山公園に秋に咲く十月桜。秋空に映える薄いピンク色の花に心が和みます。田畑には穀物が実り、伝統行事くんちも開催されます。まちは収穫と文化の実りの季節を迎え、賑やかさでいっぱいです。

秋

- 7 十月桜
- 8 平戸神楽
- 9 小学生稲刈り体験



まちで育つ子どもたちが成長の一区切りとなる卒業式を迎える季節。その一足先に、緑と文化で育まれたまちに育った"さざっ子"が成人式を迎える季節でもあります。ときには雪が降ることもありますが、地面の中では春の準備が進んでいます。

冬

- 10 成人式
- 11 幼稚園餅つき
- 12 雪の風景(古川岳からの眺望)





佐々小学校



佐々中学校



清峰高校



至江迎(佐世保)・平戸

千人堂観音堂と北斗様



十一面観音像

至小佐々(佐世保)

小浦駅



長崎県立佐世保高等技術専門校

佐々IC

小浦塩田専売公社の帖倉



小浦工場団地

佐々駅



中央保育所

町立図書館



町立診療所

役場



文化会館

口石小学校



第2保育所

正福寺



金比羅神社

郷土資料館・武道館



郷土資料館・武道館

佐々クリーンセンター



小浦郵便局

佐々町イラストマップ

SAZA TOWN Illustrmap



町長メッセージ

とき・まち・自然・人

流れのあるまち佐々町

私たちのまち佐々町は、昭和16年1月1日に町制を施行し、以来、今年で70周年を迎えました。この間、石炭産業の繁栄とその斜陽化による苦難の時代がありましたが、その後、道路や上下水道などの生活環境の向上、町営住宅や企業誘致などの定住化の促進、皿山公園や河川公園などの自然を活かした交流施設の整備といったさまざまなことに取り組み、まちは発展を続けてきました。

今日の繁栄は、先人たちの英知とたゆまぬ努力によりもたらされたものであり、心から感謝と敬意を表するとともに、この偉大な足跡に学びつつ、今後の町勢発展に活かしていきたいと考えております。

佐々町は、日本列島の西端に位置する長崎県にあって、周辺を山々に囲まれ、中央を清流佐々川が流れ、豊かな自然に恵まれたまちであり、また、大型商業施設も複数立地しております。我がまちは、自然と調和した便利で住みやすいまちであると自負しておりますし、この先、まだまだ発展の可能性のある魅力あふれるまちでもあります。

町民のみなさまからも、この美しい自然を大切に守りながら、さらに住みよいまちづくりに努めて欲しいとのご意見をたくさんいただいております。

そこで、総合計画においても、将来像を「暮らしいちばん!住むならさざ」と位置付け、佐々町に“住んでよかった”、“住み続けたい”と思っただけのようなまちづくり、さらには、町外の人も“住んでみたい”と思えるようなまちづくりを町民のみなさまと一緒に進めていくことをめざしています。

ときの流れとともに、まちも自然も人も変わっていきます。その変化の流れをより良い方向へ導き、佐々の地がいつまでも活気にあふれ、人の笑顔が絶えないまちになるよう全力を傾注してまいります。

この町勢要覧は、町制施行70周年を記念して作成したものです。ぜひ多くの方にご覧いただき、佐々町をより深く知っていただくとともに、佐々町のさらなる発展のためにご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年3月

佐々町長

古庄 剛



町制施行70周年記念 長崎県佐々町町勢要覧

発行◎長崎県佐々町
〒857-0392
長崎県北松浦郡佐々町本田原免168-2
TEL 0956-62-2101 / FAX 0956-62-3178
<http://www.sazacho-nagasaki.jp/>
E-mail sazatyo@io.ocn.ne.jp

発行日◎平成23年3月
企画◎佐々町 企画財政課
デザイン◎トップラン
印刷◎昭和堂



この本は環境に優しい
大豆油インキを使用しています。